

富士南麓における森林の復元活動

－ 2008年の活動報告・2009年活動計画 －

自然再生活動部会／中村華子

当クラブでは2003年から、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を行っています。2008年6月に5年協定の1期目を終え、協定を更新して2期目に入りました。国有林の協議会にも参加し、関係諸団体と連携を取りながら活動を進めていきます。

ここでは2008年の活動報告と2009年の活動計画について報告いたします。

協定林について

場所：富士山国有林200林班た小班4.56 ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」

「環境教育を目的とした活動」

協定期間：2008年6月－2013年6月（2008年に更新し、2期目）

これまでの活動実績（詳細は次々頁に掲載）

2004年度	活動日のべ19日間	参加者数	80人	うち会員39人	非会員41人
2005年度	活動日のべ18日間	参加者数	117人	うち会員55人	非会員62人
2006年度	活動日のべ28日間	参加者数	159人	うち会員84人	非会員75人
2007年度	活動日のべ27日間	参加者数	216人	うち会員100人	非会員116人

※みなさまのご協力により活動が順調に育っています。ありがとうございます

他団体の活動受入実績と予定

<2008年度受入実績>

・NTT労働組合東日本総支部の社会貢献活動

社会貢献活動の一環として自然保護活動を企画。2006年にボランティア推進委員で試行的に実施、2007年以降支部全体の行事として正式に受け入れている。2008年7月12日に40名が参加して植樹活動と観察会を実施（インタープリターの報告参照）。

・慶應大学ワンダーフォーゲル部OB会（三田会）

創立150周年記念事業の中途に朝霧高原にて記念行事を行う、その際に行う奉仕活動を希望、受け入れた。2008年10月24－26日に120名が参加し森林復元活動を体験。

<2009年度受入予定>

・NTT労働組合東日本総支部

2009年も継続しての活動実施を希望。昨年までよりも規模を拡大しての活動を希望。

・ハイキングクラブ四季

会創設30周年の記念植樹を希望している、講座と組み合わせて共催行事を計画。

2008年活動実績

日程	開催形態・作業内容	参加人数		備考・その他
		会員	一般	
3月8日	協議会総会に参加	1	0	富士市総合庁舎
4月13日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・農人の苗を現地へ移動	1	2	ブナ(2003採取2004・3年生) 85本
5月25日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・三田会植樹の準備	1	1	6/1記念植樹の苗を割り当て、植栽箇所を決定、植栽方法打合せ
6月21-22日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・7月植栽地の決定 ・必要資材の購入 など	2	3	作業道と植栽予定地の一部刈り払い
6月28-29日	自然再生活動部会打合せ・作業 7/12-13の準備+下見 ・植栽地整備、手順確認、資材準備 ・インプルのリハーサル、道順確認 ・苗の整理、山取苗採取	3	4	28日は協議会研修会／中村が参加
7月12-13日	<山の自然学現地講座> ・山取苗等を補植 ・自然観察会(宝永山周辺)	10	47	NTT労組東日本支社のボランティア活動・自然観察会受け入れ(40名)
7月19日	協議会作業	0	0	欠席
8月9-10日	自然再生活動部会作業 ・ススキ・低木下刈り作業	6	6	2-3から日程変更
10月4-5日	ススキ・低木下刈り作業 土壌流出防止作業	9	6	岐阜から大学生が体験参加
10月18日	10月下見(樹木種子結実状況) ・10/25活動箇所の決定	1	3	春から秋にかけ数回実施
10月24-26日	<山の自然学現地講座> 班分けして各種作業 ・山取苗の植栽、ススキ下刈り、つる切り ・種子採取 ・清掃活動(協力:富士山クラブへ受入依頼)	8	128	慶應大学ワンダーフォーゲル部OB会のボランティア活動受け入れ(120名) 福永健司先生(講師)+学生7名参加 (協力:東京農業大学治山・緑化学研究室)
11月8日	協議会研修会	1	1	
12月16日	活動報告会(三田会)	2	20	
合計人数		44	220	のべ参加人数合計:264人

《2009年活動計画》 ※年間スケジュールは次頁に掲載

これまでに引き続き、年3-4回の現地講座と、1-2月に一度程度の部会活動を予定しています。現地講座では会員以外の方に多く参加していただき、森林再生の活動とともに自然観察会なども行います（年間スケジュールは次頁に一覧で掲載してあります）。

<年間の主な活動内容>

- ・春前 一芽生えの前に現地へ苗を持っていきます。冬期に荒れた林地の整備と地拵え
- ・春 一植栽適期です。補植、挿し木などを中心に行います
- ・盛夏 一梅雨明けからススキ、ササが一気に伸びますので、下刈りを行います
- ・秋 一種採り、山取苗の採集

協定林の植生変化について ～ 6年目を迎えて

活動を始めた当初は静岡県ボランティア参加者が植栽した苗が多少残る、一面のススキ野原のようでした。とにかく1種でも多くの樹種を、1本でも多く導入したいと種採り、山取苗の採集から始めました。同時に猛烈に大きくなったススキをみなさんといっしょに下刈りし、樹木が少しでも競争に勝てるように作業してきました。その結果、草本よりも樹木が優先しているところがほとんどを占めるようになっていきます。今度はより一層遷移を進めるため、現在一番優先している陽性の低木類から、森林内の樹種へ切り替えていく作業と、木を覆ってしまうツタ（つる）切りが主な作業になってきています。

参加して下さっている部会員のみなさんは、様々な活動にご協力いただき一緒に勉強していく中で、一緒に成長して参りました。現在は初めての参加者や、ボランティア受入団体の参加者の指導、インタープリターを部会員のみなさまにお任せしています。

この場を借りて、いつも活動にご参加くださっているみなさまに感謝申し上げます（インタープリター活動の内容は「富士山におけるインタープリター活動報告」に掲載）。

Yahoo!ボランティアの寄付増加にご協力お願いします

2007年度からYahoo!の「インターネット募金」に採用いただきました。下記のサイトで富士山森林復元活動への募金を掲載しています。引き続きご協力をお願いします。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

＊ ＊東京農業大学からの協力について＊ ＊

この活動で採取した種はすべて、東京農業大学 治山・緑化工学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。種子の保存までには繊細で煩雑な作業と知識が必要ですが、そのほとんどを研究室の方々にお手伝い頂いています。採取した種子の大半は富士山の自然に戻していきますが、大学の研究室での実験や郷土種の種が必要になった現場の緑化などにも利用して頂くことになっています。植栽用の苗木も一部育てていただいています。

そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートをしてくださっています。

福永先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝します。

＊ ＊みどりの基金からの助成について＊ ＊

「富士山南麓における森林復元活動」には、セブニーイレブンみどりの基金から2008年活動助成を受けました。ここに記して御礼申し上げます。

2009年活動計画

日程	開催形態・作業内容	備考・その他
3月7日	協議会の総会に参加	富士市総合庁舎
4月4日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・植栽予定の苗を整理、現況調査	柿田川の観察会イベントに参加
5月(未定)	自然再生活動部会打合せ・作業 ・NTT受入／植樹の準備	山取苗の採集、インプリハーサルなど
5月16-17日	<山の自然学現地講座> ・山取苗等を補植・自然観察会／インプリ活動	NTT労組東日本支社のボランティア活動・自然観察会受け入れ予定
5月23-24日	<山の自然学現地講座> ・自然観察会(須走口5合目周辺:小富士、幻の滝、Gキャニオンなど)、記念植樹:山取苗等を補植	ハイキングクラブ四季との共催行事(四季の30周年記念植樹を予定) 自然観察会を中心に講座型で行う。
6月(未定)	自然再生活動部会打合せ・作業 ・NTT植栽後の整備、その他作業	5月の活動実施状況により検討
7月頃(未定)	協議会作業	
8月8-9日	自然再生活動部会作業 ・ススキ・低木刈り、ツル切り作業	
8-9月に1, 2回	自然再生活動部会作業(講座にするかも) ・ススキ・低木刈り、ツル切り作業	梅雨明けから2-3回程度実施、うち1回は観察会も組み合わせる(講座にする)
10月17日	10月下見(樹木種子結実状況)	春から秋にかけ数回実施
10月24-25日	<山の自然学現地講座> ・種子採取 (協力予定:東京農薬大学治山・緑化学研究室)	福永先生との相談により、他地域での種子採取も検討する
10、11月各1回	協議会研修会・作業が数回行われる予定	